

こそだきょうじょ ぞうせいじぎょう
子育て共助のまちづくりモデル造成事業

(舟橋地域住宅計画)

ふな はし むら
舟 橋 村

平成30年2月(第1回変更)

社会资本総合整備計画

平成30年2月9日

計画の名称	子育て共助のまちづくりモデル造成事業										重点配分対象の該当	<input checked="" type="checkbox"/>										
計画の期間	平成29年度～平成31年度																					
計画の目標	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て世代の潜在的ニーズである共助機能を醸成することで、子育てしやすい住環境を整備 <input checked="" type="checkbox"/> 安定的な子育て世代の人口流入の受け皿を整備																					
計画の成果目標(定量的指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て世代の転入者受け入れ(20世帯)																					
定量的指標の定義及び算定式		<input checked="" type="checkbox"/> (定義)賃貸住宅への子育て世帯入居者受け入れによる転入世帯の増加数 <input checked="" type="checkbox"/> (算定方法)毎年賃貸住宅の入居者を追跡調査する。										備考										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">当初現状値</th> <th style="text-align: center;">中間目標値</th> <th style="text-align: center;">最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">H31</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">20世帯</td> </tr> </tbody> </table>										当初現状値	中間目標値	最終目標値	H29	H30	H31	0	0	20世帯		
当初現状値	中間目標値	最終目標値																				
H29	H30	H31																				
0	0	20世帯																				
全体事業費	合計(A+B+C+D)	366.51	百万円	A	333.68	百万円	B	0	百万円	C	32.83	百万円	D	0	百万円	効果促進事業費の割合(C/A+B+C+D)	9.0%					

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接・間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)			全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H29	H30	H31				
A-1	住宅	一般	舟橋村	直接	舟橋村	地域優良賃貸住宅整備事業	基本設計、 宅地造成工事、建設工事(20戸)	舟橋村				333.68	未算出	基本計画段階	

B 関連社会資本整備事業(該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接・間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)			全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H29	H30	H31				
												0			

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接・間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)			全体事業費(百万円)	備考
									H29	H30	H31		
C-1	住宅	一般	舟橋村	直接	舟橋村	地域優良賃貸住宅 土地整備事業	子育て支援賃貸住宅用地(3,860m ²)の買収	舟橋村				19.66	
C-2	住宅	一般	舟橋村	直接	舟橋村	駐車場整備事業	子育て支援賃貸住宅居住者用の駐車場整備(1世帯平均2台分確保)	舟橋村				13.17	
合計											32.83		

番号 一体的に実施することにより期待される効果

C-1	地域優良賃住宅のコンセプトは、住民が協力(共助)して子育てを支援し、子育てしやすい環境をつくることである。このため、子育てに寄与する認定こども園や公園に隣接する場所に住宅用地を確保することで、園児を預ける保護者や公園を活用する地域住民と賃貸住宅居住者との間で、子育てに関する情報交換や悩み相談など、子育てを支え合う共助意識が醸成され、舟橋村に住んでよかったと思える居住環境づくりを促進することが期待される。	備考
C-2	地域における子育て世代一人当たりの自動車保有台数は、ほぼ100%であり、1世帯当たり2台分の駐車場を住戸に近接して整備することにより、生活利便性が向上し、入居者の確保につなげられる。	

D 社会資本整備円滑化地積整備事業(該当なし)													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接・間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)			全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31		
												0	

交付金の執行状況

単位:百万円

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	0		0	9.565	
計画別流用 増△減額 (b)	0		0	0	
交付額 (c=a+b)	0		0	9.565	
前年度からの繰越額 (d)	0		0	0	
支払済額 (e)	0		0	0.835	
翌年度繰越額 (f)	0		0	8.73	
うち未契約繰越額 (g)	0		0	0	
不用額 (h=c+d-e-f)	0		0	0	
未契約繰越+不用率 (h=(g+h)/(c+d))	0		0	0	
未契約繰越+不用率が10%を超えてる場合その理由					

参考図面(社会资本総合整備交付金)交付対象事業の概要

計画の名称	子育て共助のまちづくりモデル造成事業	変更回数	
計画の期間	平成29年度～平成31年度（3年間）	交付対象	舟橋村
舟橋村 京坪川河川公園周辺地区整備計画			
<p>Site plan of the Kipingawa River Park area in Shobue Village, showing the Kipingawa River, existing park areas, and planned developments. The plan highlights the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> Kipingawa River Park Expansion (H29 year 7 month joint use): Located along the riverbank. Childcare Center (existing): Located near the river. Parking lot expansion project (C-2): Located between the river and the childcare center. Regional excellent rental housing land preparation project (C-1): Located on the northern side of the river. Regional excellent rental housing preparation project (A-1): Located on the southern side of the river. Residential development promotion zones: Indicated by yellow-green diagonal hatching. Other facilities: Tennis courts, basketball courts, and a swimming pool are also shown. 			

社会资本整備総合交付金チェックシート

(地域住宅計画に基づく事業等タイプ)

計画の名称: 舟橋地域住宅計画 事業主体名: 舟橋村

チェック欄

I. 目標の妥当性	
★①計画の目標が基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
★②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	<input type="radio"/>
★③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	<input type="radio"/>
★④関連する各種計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 キ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	
⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
★①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	<input type="radio"/>
★②十分な事業効果が得られることが確認されている。	<input type="radio"/>
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	<input type="radio"/>
④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	
⑤事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	<input type="radio"/>
⑥事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	<input type="radio"/>
⑦地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	<input type="radio"/>
⑧地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。 (評価結果として該当するものに○) ア 80点以上 イ 60~79点 ウ 60点未満	
III. 計画の実現可能性	
★①事業熟度が十分である。	<input type="radio"/>
★②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	<input type="radio"/>
★③地域住宅計画を公表することとしている。	<input type="radio"/>
④地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。	
⑤計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	
⑥計画期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。	

(★は必須事項)